

会 議 要 旨

会 議 名	平成30年度 第4回館山市行財政改革委員会
開 催 日	平成30年12月27日(木) 15:30~17:15
開 催 場 所	館山市役所 2号館2階会議室
出 席 者	◆ 館山市行財政改革委員会委員 8名 ◆ 館山市(事務局) 副市長・総務部長・行革財政課(課長以下5名)
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍 聴 者	0名
会議概要・結果等	<p>○情報提供 総務事務センター及び指定管理者の決定について ・市の事務・運転・営繕業務を包括的に実施する総務事務センターについて、受託事業者が決定 ・プール及び老人福祉センター4施設の包括的な管理運営を行う指定管理者が決定 以上2点について、事務局から報告。</p> <p>【関する主な委員意見】 (●:委員意見 ⇒:事務局回答 ○:委員同士の議論) ●総務事務センターの委託は、仕様書で指定した範囲以上のことでも、総括責任者の裁量で業務拡大の可能性があるということか? ⇒仕様書の中で概ねの想定人工として何人という幅を持たせた発注をしている。その人工をフル稼働させる体制にするため、範囲内で引き受けることが出来る業務は受けるというもの。</p> <p>○協議事項 事業仕分けの実施方針(案) ①スケジュール 次年度実施予定の事業仕分けについて、実施までの市・行財政改革委員会・市民判定人のスケジュール案を提案。 ②対象事業の選定 対象事業は、近年市の業務のうち増加傾向にある「イベント・行事」に特化したい旨を提案。</p> <p>【主な委員意見】 ●対象となりそうなイベント・行事はどのくらいあるのか? ⇒他部署に応援を要するもの、義務的に行うものは10本程度想定できる</p>

が、その他担当部署が抱えているものがどの程度あるかはわからない。職員人件費を含めたフルコストに対し、市民の目から見て効果があるのかどうかという視点になろうかと思う。

●無作為抽出で選ばれた市民判定人には、あらかじめ判断の基準を示す必要があるのでは。また、基準をこの委員会で検討してはどうか。

⇒論点、判断基準を整理するための勉強会を実施する。基準の検討は次回の会議で行いたい。

●対象事業をオープンにして募集をかけるのか？

⇒その予定である

●行財政改革委員も仕分け人になるのであれば、勉強会や模擬仕分け体験が必要ではないか？

⇒事業担当部署とともに勉強し、論点を整理する必要がある。

●事業仕分けの大まかなプロセスは、初めに全職員対象の研修、その後、対象事業の担当部署に事業シートの書き方研修をする。その際、模擬事業仕分けをするので、その場に委員が参加してもよいと思う。その後、判定人勉強会、最後に事業担当部署との論点整理を行う。

●9月28日・29日は決定か？

⇒9～10月は担当課が一番予算を考える時期。事業仕分けの結果が予算に反映されているかどうか、検証できる利点がある。

●市としては、イベント・行事を取り上げるから、市民判定人方式の事業仕分けがいいのか？他に取り上げたい分野はないのか？すべてイベント・行事にしなくてもよいのでは？

●事業仕分けの一番の目的を何にするかが重要。イベント・行事は事業費のボリュームがそれほどではない。いるか・いらぬか、という議論からやっていかないと、狙いと逆の方向に行く可能性があるのでは。

⇒事務局としては、イベント・行事が課題であることと、色々な分野を取り上げるよりわかりやすいのではないかという提案。委員から色々な分野を取り上げたほうがよいという意見があれば検討し直したい。

※市のイベント・行事一覧を作成し、その上ですべてイベント・行事でいくのかどうか検討することで各委員了承。

○イベント・行事は多くが実行委員会形式。そういった主に関わっている人たちのイベントに対する思いは、仕分けの場でどう反映されるのか？その場の感覚や経済的な問題で議論されることには危機感を感じる。

○当日の説明者席に関係団体の責任者等がいるケースもあるし、事前の現地調査等で現場の声を聞く。ただし、事業仕分けは館山市の税金の使い方を議論する場であり、市の職員が必要だと思って税金を支出しているのだから、なぜこのイベントが必要なのか、担当部署の職員がきちんと答えられることが重要。

- 行財政改革委員が仕分け人になるとして、議員の2人はどうするか？
- 馴染まないと考える。

●9月28日以降、行財政改革委員会の予定は？

⇒仕分け結果の進捗管理、また次年度はどのようなテーマで事業仕分けを行うのか、次年度に向けての議論を行いたい。

- 予算編成に委員会として関われることは重要。事業仕分けの課題として、「要改善」のチェックがある。担当部署にとって都合のよい解釈での改善にならないよう、この議論で出た改善とはこういう意味だ、としっかりチェックできる。場合によっては担当課ヒアリングがあってもいいかもしれない。

【その他の主な意見】

- ・イベントと、イベントではないものの違いがわかりにくい。
- ・市民協働条例が施行になる。今後の行革の目玉になる条例だと思う。イベントだけを考えても、マンパワーや、市民からの提案で市と協力してイベントの方向性を検討していくことが大切。
- ・判定人の応募率が低いことも想定されるので、対処法を想定しておいたほうがよい。
- ・仕分け人として入る場合、ある程度事業を希望してよいのか？関わっている行事について、色々意見があるが今まで言う場がなかった。

【次回日程】

- ・3月29日（金）に決定し終了。